

平成24年度事業報告書

公益社団法人瀬戸内海環境保全協会

今年度事業推進上の基本方針

「瀬戸内海環境保全協会」の設立趣意を踏まえつつ、次の方針のもと事業を展開する。

「瀬戸内海の環境保全・創造」に関する活動拠点、瀬戸内海の各種対策のコーディネータとして、

(1) 瀬戸内海の環境活動、環境学習に関する指導者のネットワーク構築、教材等作成提供

(2) 瀬戸内海の栄養塩類や生物多様性等新たな課題に対する調査研究

(3) 瀬戸内海に関する各種情報、データの収集・発信

の中心的な役割を目指して事業を進めることとする。

また、事業実施にあたっては、瀬戸内海に関係する府県市、漁業団体、環境衛生団体の緊密な連携のもと、新たな水環境の考え方の一つである「(森・川・海の)流域管理」や「里海」をキーワードとしながら、環境省や瀬戸内海環境保全知事・市長会議、瀬戸内海研究会議との連携をさらに密にし、豊かで美しい瀬戸内海を後世に継承していくための事業展開を図っていく。

I 事業

1. 環境活動・環境学習等事業

(1) 瀬戸内海環境保全月間事業の展開（昭和52年度～）

瀬戸内海の環境保全意識の高揚を図るため、次の事業を実施した。

① 平成24年度瀬戸内海環境保全月間（期間：平成24年6月1日～30日）ポスターの配布・掲示

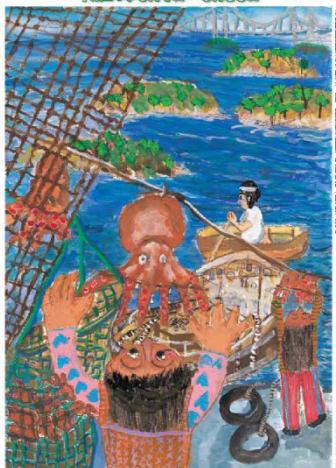
平成23年度に公募し、選定された最優秀作品を平成24年度瀬戸内海環境保全月間ポスターとして作成、関係機関に配布し、瀬戸内海環境保全月間に掲示した。

・配布枚数 5,000枚

平成24年度瀬戸内海環境保全月間ポスターの最優秀・優秀作品

瀬戸内海環境保全月間

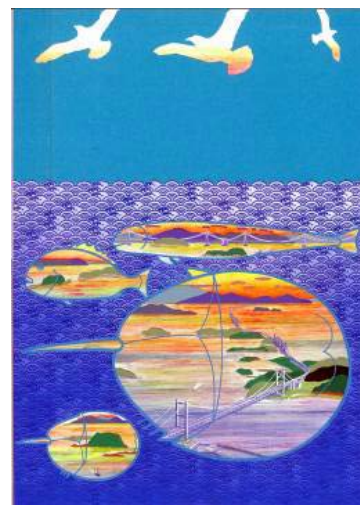
平成23年6月1日～6月30日



最優秀賞 三浦 友里江
(徳島県吉野川市 小学生)



優秀賞 長谷川 正龍
(徳島県吉野川市 小学生)



優秀賞 花巻 庄司
(青森県十和田市)

②瀬戸内海環境保全月間ポスター原画展の実施（平成22年度～）

第42回瀬戸内海環境保全知事・市長会議総会に合わせて、協会が保有している瀬戸内海環境保全月間ポスター入選作品の原画を展示した。

日時：平成24年7月12日

場所：レンブラントホテル大分（大分市）

展示作品数：平成15年度～24年度 最優秀・優秀作品 30点



ポスター原画展の会場

③平成25年度瀬戸内海環境保全月間ポスター募集・選定（平成11年度～）

平成25年度瀬戸内海環境保全月間に向け、環境省と共催で、ポスターの原画を募集し、入選作品を選定した。

・募集期間：平成24年7月12日～11月30日

・ポスター選定委員会の開催：平成25年3月6日

・応募数 子供部門：147件、一般部門：85件 総数：232件

(2)「里海づくり」支援事業の展開（平成23年度～）

地域住民等に対する瀬戸内海の環境保全意識の啓発、理解及び活動参加の推進を図るため、会員府県市が実施する人と自然が共生する「里海づくり」に係る環境学習事業や環境ボランティア人材育成事業に対し、資材を提供し支援を行った。

支援対象事業 ①自然観察会や子どもたちを対象とした体験的学習

②環境ボランティアの人材育成事業

支援物品 水生生物下敷き（2,395枚）、冊子・ハンドブック（2,516冊）等

支援府県市 11府県16市

事業実施期間 平成24年7月1日～平成25年1月31日



和歌山市 「親子生き物観察教室」



高槻市「芥川の生きものしらべ教室」

(3) 環境保全事業への支援（昭和52年度～）

環境衛生団体や漁業団体に取り組んでいる浜辺の清掃や環境美化等、各種環境保全・創造活動事業に対し、その活動費用の一部を助成した。

助成団体数 環境衛生団体 7団体、漁業団体 8団体

事業実施期間 平成24年6月1日～平成25年3月31日

(4) 環境保全研修の実施

① 瀬戸内海環境保全トレーニングプログラム研修の実施（平成10年度～）

団塊の世代の退職に伴い、環境技術職員の世代交代が進むなか、新たに水環境保全業務に従事する職員を対象に、瀬戸内法や排水処理技術、瀬戸内海の新たな取り組みについて、研修を行った。

・日時：平成24年11月6日～7日

・場所：高松市 高松センタービル

・講義：瀬戸内海の環境保全の歩みと再生方策

講師 広島大学 名誉教授 松田 治

瀬戸内海の環境保全の動向 - 瀬戸内海環境保全特別措置法を中心として -

講師 環境省閉鎖性海域対策室 室長補佐 西田隆行

内湾の貧酸素化と窒素・リンの挙動

講師 京都大学大学院農学研究科 教授 藤原建紀

排水処理技術の概要

講師 (公財) 国際エメックスセンター 梅本 諭

香川県における水環境保全対策について

講師 香川県環境森林部環境管理課 課長補佐 大倉恵美

・現地研修

講義・見学：香川県直島環境センター（香川県香川郡直島町）

豊島廃棄物等処理事業について

講師 香川県直島環境センター

海上視察：豊島（香川県小豆郡土庄町豊島）

・班別討議及び全体討議

・参加人数：33名（京都府、豊中市等12府県15市5団体、聴講者2名を含む）



基調講義 広島大学名誉教授 松田 治



現地研修 香川県直島環境センター

②瀬戸内海の環境保全に関する各団体合同研修会の開催（昭和53年度～）

当協会設立の原動力の一つである環境衛生団体と連携を継続・維持していくため、同団体の合同研修会を共同で開催した。

- ・主催：瀬戸内海環境保全地区組織会議、（社）山口県快適環境づくり連合会
（社）瀬戸内海環境保全協会
- ・後援：山口県、山口県瀬戸内海環境保全協会
- ・日時：平成24年9月27日
- ・場所：山口グランドホテル（山口市）
- ・講演：「環境整備サイクル400（山・川・海の再生）」
講師 岩国市灘地区社会福祉協議会
「宇部市のクリーンアップ実践活動と課題」
講師 宇部市環境衛生連合会 副会長 藤田俊美
- ・体験交流・意見交流：各府縣市連合会の実践活動報告
 - 1) 水辺教室をはじめとした環境保全活動
広島県 世羅町公衆衛生推進協議会
 - 2) 富海クリーン作戦
山口県 富海地区社会福祉協議会
 - 3) 佐波川水源の森づくり（林間塾：森に学ぶ）
山口県 佐波川流域森づくりの会
 - 4) 曾根干潟の現状と再生について
北九州市 曾根東校区衛生協会
- ・合同研修会のまとめ、ふりかえり
- ・参加人数：131名



近光 章議長（瀬戸内海環境保全地区
組織会議）挨拶



講師：宇部市環境衛生連合会
副会長 藤田俊美

③瀬戸内海の環境保全に関する賛助会員等研修会の開催（平成6年度～）

当協会の賛助会員であり、ともに瀬戸内海の環境保全に取り組んでいる企業間のネットワークづくりの場として、企業ニーズを踏まえながら研修会を実施した。

研修内容は、賛助会員へのアンケート結果を踏まえ、要望の多かったテーマである最新鋭工場の見学及び豊かで、美しい瀬戸内海を後世に伝えるためとした。

1) 第1回研修会（最新鋭工場の見学）

日時：平成24年9月14日

講義・見学：(株)大塚製薬工場 松茂工場（徳島県鳴門市）

世界一合理化された高能力の輸液製造ライン、LNGを利用したコージェネ施設及び排水処理施設の講義と見学

大塚製薬(株) 徳島板野工場（徳島県板野郡板野町）

工場における環境への取り組み（2010年度エネルギー管理優良工場、ビオトープ）の講義と見学

参加人数：67名（うち自治体より5県5市参加）

2) 第2回研修会（豊かで、美しい瀬戸内海を後世に伝えるために）

日時：平成25年1月25日

場所：よみうり神戸ホール（神戸市）

講義：

基調講演：「瀬戸内海の目指すべき将来像と環境保全・再生の進め方について」

講師 広島大学名誉教授 松田 治

（環境省中央環境審議会瀬戸内海部会企画専門委員会 委員長）

講演：「瀬戸内海における栄養塩の現状について－規制から管理の時代へ」

講師 大阪大学大学院工学研究科 教授 西田修三

講演：「海の幸を育む瀬戸内海」

講師 独立行政法人水産大学校 理事長 鷺尾圭司

事例紹介：「瀬戸内海の再生のための重点方策」

講師 兵庫県農政環境部環境管理局水大気課 課長 秋山和裕

（瀬戸内海環境保全知事・市長会議事務局）

パネル討論

参加人数：57名（うち自治体より6県7市参加）



第1回研修会

（株）大塚製薬工場 松茂工場



第2回研修会

講師：（独）水産大学校 理事長 鷺尾圭司

(5) 環境保全事業への参加・協力

①瀬戸内海環境保全特別措置法制定40周年記念事業の準備（追加）

平成25年10月に、瀬戸内海環境保全特別措置法が制定（昭和53年6月13日恒久法として特別措置法に改正）されてから40年となる。瀬戸内海環境保全特別措置法制定40周年記念事業を行うため、検討会に参加し、環境省、瀬戸内海環境保全知事・市長会議と協調して事業を進めた。

- ・瀬戸内海フォトコンテストの募集 平成25年1月10日～6月10日
- ・応募受付数：80点（平成25年3月27日現在）

②環境イベントへの参加・協力

他団体が主催する環境イベントにおいてパネルの展示、資料配布等を行い、瀬戸内海の環境保全の普及・広報に努めた。

- ・第五管区海上保安本部が呼びかけ実施している大阪湾クリーン作戦（期間：24年6月1日～6月30日）に協力し、大阪湾クリーン作戦のポスターを環境月間ポスターと共に正会員、賛助会員へ配布
- ・（独）水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所が主催した、市民講座「里山・里海としての瀬戸内海について」（平成24年10月13日、広島県情報プラザ）の後援

③会員等主催事業への支援

会員及び関係機関が主催する各種環境保全事業へのパネルの貸出などの支援を行った。

④環境NGO・NPOとの連携・支援

瀬戸内海の環境保全等に努める環境NGO・NPOとの連携や支援を行った。

- ・広島県福山市のJR福山駅構内にあるショッピングモール「さんすて福山」において、6月28日から7月8日までの間、「瀬戸内のスナメリを救おう～古着回収チャリティー」イベン

トが開催された。このイベントは、不要となった衣類を回収して得られた収益金を瀬戸内海の環境を守る活動に役立てる趣旨で、山陽S C開発（株）より寄付を受けた。

寄付金額 8,634 円

(6) K J B 瀬戸内基金の管理・運営（平成19年度～）

瀬戸内海の環境保全等に取り組む環境NGO・NPOを支援するため、フィリップ モリス ジャパン株式会社が提唱する「keep Japan beautiful～日本をエコひいきしよう～」の一環として、瀬戸内海地域における環境美化・保全活動に取り組む市民団体の活動や事業の助成・支援を行うため設立した「K J B（keep Japan beautiful）瀬戸内基金」の管理・運営業務を行った。

①平成24年度K J B 瀬戸内基金助成

応募総数：49団体

採択総数：18団体（うち1団体辞退、17団体へ助成）（助成総額 3,736千円）

主な採択活動：海域及び河川の美化活動

②平成25年度K J B 瀬戸内基金助成

25年度の環境美化・保全活動に対する助成選考委員会（平成25年3月25日）を開催し、助成団体の選考を行った。

応募総数：55団体

採択総数：20団体（助成総額 4,264千円）

(7) 瀬戸内海再生に向けた取組みの推進

瀬戸内海の生物多様性の確保、水産資源の回復、美しい自然とふれあう機会の提供等、豊かで美しい瀬戸内海を取り戻すための施策が総合的、計画的に推進されるよう、瀬戸内海環境保全知事・市長会議等と連携して、種々の取組みを進めた。

・瀬戸内海関係漁連・漁協連絡会議（当協会の会員の漁連・漁協で構成）が進めている「新瀬戸内海再生法」の整備に向けた活動を瀬戸内海64号（会員レポート）に掲載。

(8) 瀬戸内海スナメリ発見情報プロジェクト実践事業の展開

沿岸域住民の瀬戸内海に対する理解や関心を深め、自主的な取り組みを推進するための契機となるよう、スナメリのマスコットイラスト「ほのぼのん」を活用したマグネットを大分市でのポスター原画展、姫路市でのひょうごエコフェスティバルの会場において配布し、瀬戸内海の環境保全啓発活動を行った。 マグネットの配布数 約500個



「ほのぼのん」マグネット

2. 情報共有・発信事業

瀬戸内海的环境保全にかかる現状や、瀬戸内海のあり方、行政施策に関する情報を収集し、今後の施策や事業の連携、協調を図るため、府縣市、漁業団体、環境衛生団体等の会員をはじめ、関係する市民等に広く情報を発信し共有した。

(1) 総合誌「瀬戸内海」の発行・配布（平成6年度～）

瀬戸内海の自然・社会・人文科学の総合誌「瀬戸内海」を発行・配布するとともに協会ホームページに掲載した。

- ・発行回数：年2回

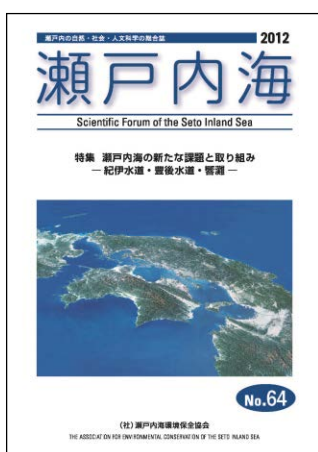
第64号：平成24年9月発行 1,000部、CD-ROM

特集 瀬戸内海の新たな課題と取り組み — 紀伊水道・豊後水道・響灘 —

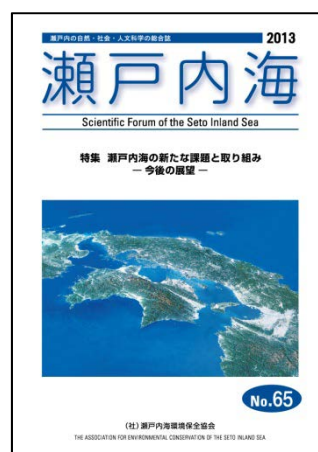
第65号：平成25年3月発行 1,000部、CD-ROM

特集 瀬戸内海の新たな課題と取り組み — 今後の展望 —

- ・無償配布：会員団体（冊子及びCD-ROM）
- ・有償配布：年間購読者等（冊子のみ） 年間購読料 2,500円（税込み）



「瀬戸内海」第64号



「瀬戸内海」第65号

(2) 資料集「瀬戸内海的环境保全—平成24年度版—」の発行・配布（昭和53年度～）

各省庁、府県等から瀬戸内海に関連する各種情報（埋立ての現況、水質・底質の現況、赤潮の発生状況等）を収集し、データのとりまとめ、図表の作成等を行い、資料集「瀬戸内海的环境保全—平成24年度版—」として発行・配布した。

- ・無償配布先：会員団体（冊子及びCD-ROM） 冊子 600部、CD-ROM 280枚
- ・有償配布先：会員以外（冊子のみ） 1部 3,000円（税込み）

(3) 協会ホームページによる情報の発信（平成10年度～）

瀬戸内海的环境保全に関する環境学習情報等を広く一般の方も容易に入手できるとともに、環境保全に取り組むNPOのネットワーク化にも役立つよう情報内容を充実し、随時更

新した。

(4) メールマガジンによる情報の発信（平成23年度～）

会員府県市、漁業団体、環境衛生団体及び協会が有するトピックスを収集し、正会員相互の情報共有や施策立案等に資するよう、正会員に向けたメルマガによる情報発信を行った。

・平成24年4月16日の第10号から平成25年3月15日の第21号まで毎月15日に発行

(5) 青少年による環境保全の取り組みへの情報収集・提供（平成23年度～）

将来の瀬戸内海を担う青少年の活動を促進するため、兵庫県内のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業で実施している高校生が行う尼崎港内の運河の環境調査活動を支援するため、活動内容のアドバイスができる研究所や大学の有識者等を紹介した。

(6) 海文化事業の推進（平成24年度～）

瀬戸内海がもつ自然や歴史、食文化等多様な地域資源を背景に、瀬戸内海で結ばれている地域住民の生活・文化の交流を通じて、環境保全への一層の意識醸成を図り、「豊かで美しい瀬戸内海」を実現するため、海文化を通じた新たな事業としての推進を図っている。

海文化委員会において、今後の事業の進め方等について協議した結果、海文化の対象が多岐にわたることから、「海文化」のうち私たちの生活に密着した「食文化」を中心に検討していくこととした。広く海文化についての情報を収集するため、①瀬戸内海における様々な食文化、②海にまつわる神事・祭祀等の伝統行事について、会員にアンケート調査を行った。

委員会開催状況は、会議等の開催の頁を参照

3. 調査・研究事業

(1) 海域の物質循環健全化計画策定事業－海域ヘルシープラン策定モデル事業－

（平成22年度～24年度、環境省委託）

地域の実情に応じた栄養塩類の循環バランスを回復あるいは向上させるための具体的な行動計画（栄養塩類管理方策）を確立するために、平成22年度から本事業で実施してきた情報収集や現地調査、シミュレーションによる計算、地域懇談会での検討を踏まえて、播磨灘北東部地域ヘルシープランを策定した。（共同事業実施協力者 いであ㈱大阪支店）

播磨灘北東部地域検討委員会（学識経験者委員5名、関係行政機関等委員8名）

委員長：京都大学大学院農学研究科 教授 藤原建紀

第1回播磨灘北東部地域検討委員会（平成24年9月5日 兵庫県民会館）

- ・地域検討委員会の進め方について
- ・物質循環状況の解明調査について
- ・栄養塩類の循環状況と循環バランス向上対策の検討
- ・播磨灘北東部地域ヘルシープラン（案）の検討

第2回播磨灘北東部地域検討委員会（平成24年12月25日 兵庫県民会館）

- ・栄養塩類の循環バランス向上対策の検討

- ・播磨灘北東部地域ヘルシープラン（案）の検討
- 第3回播磨灘北東部地域検討委員会（平成25年2月28日 兵庫県民会館）
- ・栄養塩類の循環バランス向上対策の検討
- ・播磨灘北東部地域ヘルシープラン（案）の検討
- ・本年度検討のとりまとめについて

4. その他関連事業

(1) 国に対する提案（昭和52年度～）

栄養塩の適正管理や藻場、干潟の保全等、単独の府県だけでは取り組めない瀬戸内海の広域的な課題の解決に向けた調査・研究に取り組むため、国に提案した。

（提案事項）

・施策の推進

- 1) 瀬戸内海環境保全・再生のための普及活動、環境教育・環境学習事業及び参加型環境保全活動事業の推進
- 2) 瀬戸内海的环境データの収集とデータベース機能の充実
（特に生物、藻場、干潟等の自然環境情報）
- 3) 漁業が持続可能な豊かな海づくりのための栄養塩の適正管理の推進
- 4) 底質並びに湾奥部の改善措置の推進
- 5) 藻場、干潟及び浅場の保全措置の推進
- 6) 赤潮発生メカニズムの解明と防止対策の推進
- 7) 海ごみの処理対策の推進
- 8) 水質浄化に寄与する二枚貝等を捕食する有害生物対策の推進

・調査研究

- 9) 瀬戸内海の沿岸域での良好な環境の保全、失われた環境の修復・創造に関する調査研究
- 10) 生物多様性の確保及び水産資源の回復、美しい自然とふれあう機会の提供等瀬戸内海を里海として再生するための調査研究
- 11) 瀬戸内海の汚濁メカニズムの解明と栄養塩類の適正な管理等を通じた海域の物質循環健全化に関する調査研究
- 12) 瀬戸内海の内海及び水環境保全並びに浮遊・漂着・海底ごみ等に関する調査研究
- 13) 瀬戸内海における有害化学物質等による環境影響に関する調査研究
- 14) 瀬戸内海における外海からの環境影響に関する調査研究
- 15) 気候変動（海水温上昇）に伴う漁獲の変化及び水産業に与える影響調査
- 16) 外来種侵入に伴い、生物多様性、特に水産業（漁獲量）へ及ぼす影響調査
- 17) 栄養塩類や砂の供給にかかる河川・森林機能に関する調査研究
- 18) 瀬戸内海の内海及び水環境保全並びに浮遊・漂着・海底ごみ等に関する調査研究
（自然、文化、歴史等の既存の情報収集とその広報活動を含む）
- 19) 地域で活動している NPO 団体との連携による地域づくり活動の実施体制の構築（指導者やボランティアの育成）
- 20) 瀬戸内海研究会議の調査研究及び教育活動に対する支援

- ・提案日：平成24年6月7日
- ・提案先：民主党兵庫県総支部を通じて、民主党本部へ提案
- ・提案内容の説明会：平成24年7月14日、民主党兵庫県政策懇談会で説明

(2) 「瀬戸内オリーブ基金」による瀬戸内海地域の緑化の推進（平成24年度～）

有害産業廃棄物の不法投棄事件「豊島事件」をきっかけに、建築家安藤忠雄氏と、豊島事件弁護団長の中坊公平氏が呼びかけ、植樹等の緑化活動により、瀬戸内海の自然環境を保全していくことを目的とした「瀬戸内オリーブ基金」を活用し、正会員が瀬戸内海周辺一帯及び流域で行う植樹・育苗等の自然再生、地域再生にかかる緑化事業に協力した。

- ・平成25年度要望書提出：8府県
- ・要望額：平成25年度申請額 15,761,355円
平成26年度申請額 570,106円（植樹次年度の維持管理費）
合計 16,331,461円
平成25年度交付額 9,404,559円

(3) 瀬戸内海環境保全知事・市長会議との協調

瀬戸内海環境保全知事・市長会議と連携を密にし、ポスター原画展の開催等の事業を協調して行った。 *ポスター原画展（再掲）

(4) 賛助会員の加入促進

賛助会員研修会に参加した事業所に対して、協会のパンフレットと賛助会員の申し込みを添え、加入促進を行った。

5. 瀬戸内海研究会議に対する支援・協力

瀬戸内海研究会議の事務局を担うとともに、研究会議が行う「瀬戸内海研究フォーラムin岡山」等の事業の運営推進について支援・協力を行った。

- ・大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成事業（平成23年度実施）成果発表会（平成24年7月23日）
- ・瀬戸内海研究フォーラムin岡山（平成24年8月30日～31日）
- ・瀬戸内海研究会議ワークショップ（平成24年10月26日）
- ・瀬戸内海研究会議のNPO法人化

6. 国際的な活動への協力

（公財）国際エメックスセンターが行う国際的な行事について、協力を行った。

- ・EMECS国際セミナー（6月15日）への後援及び広報チラシの配布
- ・EMECS10-MEDCOAST2013ジョイント会議（平成25年10月30日～11月3日、トルコ・マルマリス）の広報チラシの配布及び瀬戸内海65号への記事掲載

II 一般事項

1. 会議等の開催

(1) 総会

①通常総会（平成24年5月24日 ラッセホール）

- ・平成23年度事業報告及び収支決算
- ・平成24年度会費
- ・平成24年度事業計画及び収支予算
- ・国に対する提案
- ・理事の補欠選任
- ・公益社団法人への移行に伴う定款附則の一部改正

(2) 理事会

通常総会付議事項及びその他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項を協議した。

①第92回理事会（平成24年5月24日 ラッセホール）

- ・会員の入会承認（豊中市）
- ・専門委員会委員の委嘱
- ・通常総会付議事項

②第93回理事会（平成25年3月26日 ラッセホール）

- ・平成24年度事業計画の変更
- ・平成24年度収支補正予算
- ・職員給与規則の一部改正
- ・平成25年度事業計画案及び収支予算案

(3) 専門委員会等

①企画委員会

平成24年度における協会の事業推進のための検討及び平成25年度事業の検討・企画を行った。

第92回企画委員会（平成24年7月31日 兵庫県民会館）

- ・平成24年度事業実施状況について

第93回企画委員会（平成25年2月25日 兵庫県民会館）

- ・平成24年度事業実施状況について
- ・平成25年度事業計画案及び収支予算案
- ・公益社団法人への移行申請状況について

②編集委員会

協会が発行する「瀬戸内海」の特集テーマや掲載内容及び執筆者等の検討を行った。

第1回編集委員会（平成24年7月4日 兵庫県民会館）

- ・「瀬戸内海」64号の原稿収集について

第2回編集委員会（平成24年11月14日 兵庫県民会館）

- ・「瀬戸内海」65号の原稿収集について
- ・「瀬戸内海」66号の特集について

③海文化委員会

海文化事業の推進を図るため、情報の収集整理及び保全活動の推進方策の検討を行った。

第1回海文化委員会（平成24年7月31日 兵庫県民会館）

- ・海文化委員会の進め方について

第2回海文化委員会（平成24年10月30日 兵庫県民会館）

- ・瀬戸内海的环境と海文化について

第3回海文化委員会（平成25年2月27日 兵庫県民会館）

- ・瀬戸内海的环境と海文化について

④賛助会員部会

協会活動に対する賛助会員の積極的な参画と賛助会員に係る事業の検討・企画を行った。

第1回賛助会員部会（平成24年7月6日 神戸市勤労会館）

- ・平成24年度事業等について

部会委員：関西電力㈱、川崎重工業㈱、㈱神戸製鋼所、マツダ㈱、四国電力㈱

いであ㈱、㈱大塚製薬工場、山口県瀬戸内海環境保全協会

(4) 参事・事務局長並びに担当課長会議

会員に対する協会事業の理解と周知を図るとともに、事業活性化のため、会員相互の情報交換等を行った。

（平成25年3月19日 ラッセホール）

- ・平成24年度事業実施状況及び収支補正予算案
- ・平成25年度事業計画案及び収支予算案
- ・平成25年度国への提案事項案 等

2. 専門委員の委嘱

企画委員、編集委員、海文化委員を委嘱した。

(1) 企画委員（13名）

| | |
|-------|---------------------------|
| 児林 宏之 | 大阪府環境農林水産部環境管理室環境保全課長 |
| 秋山 和裕 | 兵庫県農政環境部環境管理局水大気課長 |
| 日原 康生 | 広島県環境県民局環境部環境保全課長 |
| 今雪 良智 | 香川県環境森林部環境管理課長 |
| 田島 義久 | 大分県生活環境部環境保全課長 |
| 田原 洋 | 大阪市環境局環境管理部土壌水質担当課長 |
| 岸本 綾夫 | 神戸市環境局環境創造部主幹（水・土壌環境担当課長） |
| 後藤 修志 | 尼崎市経済環境局環境部環境保全課長 |
| 加藤 正樹 | 西宮市環境局環境総括室環境保全課長 |
| 栄田 豊幸 | 山口県漁業協同組合総務指導部指導担当次長 |

宮本 寿 愛媛県漁業協同組合連合会専務理事
内田 靖人 (社) 大阪エイフボランタリーネットワーク事務局長
上田 康二 (財) 広島県環境保健協会地域活動支援センター長

(2) 編集委員 (10名)

秋山 和裕 兵庫県農政環境部環境管理局水大気課長
今雪 良智 香川県環境森林部環境管理課長
小川 喜弘 関西電力(株)環境室環境技術グループチーフマネージャー
住田 典子 (財) 広島県環境保健協会地域支援課長
反田 實 兵庫県農林水産技術総合センター水産技術センター所長
西田 隆行 環境省水・大気環境局水環境課閉鎖性海域対策室室長補佐
西田 正憲 奈良県立大学地域創造学部教授
藤原 建紀 京都大学大学院農学研究科教授
吉田 寿 (株) 神戸製鋼所本社環境防災部課長
鷺尾 圭司 (独) 水産大学校理事長

(3) 海文化委員 (11名)

池田 道治 京都府文化環境部環境・エネルギー局環境管理課長
秋山 和裕 兵庫県農政環境部環境管理局水大気課長
花岡 元彦 和歌山県環境生活部環境政策局環境管理課長
矢部 良正 岡山県環境文化部環境管理課長
日原 康生 広島県環境県民局環境部環境保全課長
今雪 良智 香川県環境森林部環境管理課長
大西 章博 愛媛県県民環境部環境局環境政策課長
作花 哲朗 北九州市環境局環境監視部環境保全課長
佐藤 泰弘 兵庫県漁業協同組合連合会組織統括本部指導部統括
栄田 豊幸 山口県漁業協同組合総務指導部指導担当次長
上田 康二 (財) 広島県環境保健協会地域活動支援センター長